

中央公民館だより

そうぞうながと



発行 | 長門市中央公民館運営協議会 広報担当
TEL | 0837-23-1181 FAX | 0837-22-3648
E-mail | chuo.kominkan@city.nagato.lg.jp

中央公民館広報紙
No.208



10月31日(木) 深川小学校 栈敷集会

1年生「ちからをあわせて♪よいしょ よいしょ♪」



栈敷にひびけ！わたしたちの絆

6年生「うながれ」

「ふるさと深川の歴史遺産シリーズ」

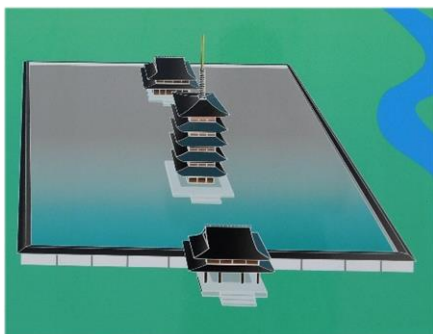
「深川廃寺の伽藍配置は聖徳太子由来の寺院か？」

西深川板持、西宝寺の北西部に広がる築地の丘には、古くから、寺の礎石や瓦が見つかった。土地の人は、飯山八幡宮に伝わる写経（南北朝時代）の中の「安楽寺」の跡と伝えてきた。昭和51年と52年に県と市が発掘調査した結果、安楽寺よりもっと古い時代の7世紀後半の白鳳時代の塔、のち奈良時代には金堂が建ち、周囲50メートル四方の伽藍が配置されていたという。その配置は大阪の四天王寺などによく見られ南大門、中門、塔、金堂、講堂が南北に一直線に並び四天王寺式と呼ばれ飛鳥時代に聖徳太子の命によって建てられた伽藍配置とよく似ている。先に江良に伝わる「真砂山観世音略縁起」に由来し、大内家の先祖といわれる朝鮮半島の百済の国の琳聖太子が見た馬頭観世音の話をもとに、聖徳太子に会って話したことにより、聖徳太子が国司に命じて、江良の奥の真砂ため池のさらに奥あたりに日濃寺を建立し、馬頭観世音を安置したという記載がある。深川廃寺の四天王寺式の伽藍配置といい、聖徳太子が命じて日濃寺を作らせたことといい、奈良の都から遠く離れた長門の地にもかかわらずと五重塔を持つ四天王寺式の伽藍配置を持つ有力な大寺院が存在したのではないかとという歴史ロマンが沸く。現在でも江良には日濃寺、弥勒（実録）寺、飛らん坊、地藏坊等の字名が残り、歴史を物語っている。

◆長門深川廃寺跡全景



◆長門深川廃寺
伽藍配置想定図



【参考文献】

長門市郷土文化研究会発行
『ながと歴史散歩』

わが家のオンラインワン 「宝子編」



ふじしげはると

藤重晴人くん（1歳6か月）

にこにこ笑顔がトレードマークの晴人くん。
人懐っこく、どこへ行っても笑顔をふりまいて
います。明るく元気に成長中！

今月のうた

山茶花クラブ

峠路の陽光きらり冬の鵲

ほくそ笑む観音様と山茶花と

米寿への歩み重ねて冬が来る

村岡としゑ

中村 瀧江

山田 耕司

長門短歌会

「子は育ちどちらが親かと思うのよ」

頷き合えるは心知る友

できましたグループラインいとこ会

八人懐かし伯母二人もいる

時を経て過去に根絶したはずの

泡立ち草が怒涛の如く

山下 映子

原田 満江

窪田 佳子

深川地区の人口

世帯数	5,922	(1)
男 性	5,519	(2)
女 性	6,353	(-10)
計	11,872	(-8)
(R6 年 11 月 1 日現在)		

中央公民館 12 月の行事予定

7・14・21(土)	子どもクラブ
7・21(土)	キッズエクササイズ(3B 体操)
14(土)	わくわく土曜塾(クリスマス会)
11・18(水)	親子で♪ミック
15(日)	ふれあいスポーツ駅伝大会
23(月)	公民館年末大掃除

編集後記

▼11月10日(日)、わくわく土曜塾で青海島の高山に登りました。たまには高山から反対側に住んでいる街を見降ろすのも一興です。頂上に残る見張台跡は古式捕鯨のクジラの見張り所と第二次世界大戦の見張りを果たしていたという説明に子ども達はどう感じたのかな？平和に感謝！（敬）

わくわく土曜塾

「防災ミニキャンプ、保護者と高山登山」

10月12日(土) 防災ミニキャンプ

長門市役所・防災危機管理課の職員の皆さんを講師に迎え、市保有の避難所グッズ等の使用体験をしました。みんなで協力してベッドやテントを組み立てました。



段ボールベッド。
10人乗っても、大丈夫♪



避難所用テント。1人用はゆったりゴロン。
家族用は友達と一緒に大はしゃぎ。



「家でも作りたい！」
じゃがりこサラダ



ツナ缶ランプ



ブルーシート寝袋。
保温性高く、暑い！」



11月10日(日) 高山に登ろう

土曜塾恒例の保護者との登山を、青海島の高山で行いました。地元の皆さんに草刈りやガイド役で協力いただき、高山の景色や自然等を楽しみました。ありがとうございました！



ドングリ
キクラゲ
見つけ！

戦時中に山頂に
造られた監視哨
(見張り台)です。



この建物は
何？

深川幼稚園児がハロウィンの日に来館

ハロウィンは、子供たちが異文化に触れることができ、クリスマスのように楽しんでいるといってもいいイベントのひとつです。10月31日(木)、「トリック・オア・トリート！ハッピーハロウィン！」の掛け声のもと、深川幼稚園児の皆さんが思い思いの手作り衣装を身にまとい、中央公民館を訪れてくれました。



ながと市民活動フェスティバル2024

「たしなむSDGs・ながとの秋」

11月9日(土)、ながと市民活動フェスティバル2024が開催されました。会場はSDGsをテーマとした「SDGs体験ブース」、「みんなのパントリー」、「秋のフリーマーケット」、その他様々な催しで盛りだくさん。中央公民館大講堂では、ダンスパフォーマンスや、萩市須佐でジェラート店を経営する福島友美さん、海洋環境の改善に尽力されている内田正洋さん、山口県出身でテレビなどで大活躍中の村重杏奈さんをゲストに迎えてのパネルトークが行われ、最後に恒例のお菓子まきでイベントを締めくくりました。

天気もよく暖かい中、多くの皆さんが来場され、各々に楽しんでいました。ご協力いただいた皆様のおかげで、無事にイベントを終えることができました。ありがとうございました。



みのり保育園/園児の皆さん



地域に学ぶ 協育ネットによる多様な学習支援

11月12日(火)、

深川小学校の4年生65名が社会科「谷に囲まれた大地に水を引く」の学習で江良にある市指定文化財「岩穴鬼右衛門の洞窟」を訪れました。

ヒストリアながとの

文化財専門員・上田穰さんが「何よりも実際に見るのが一番！」と現地での学習を勧められたもので、「お年寄りがだた穴を掘って水の通り道を作っただけではありません。江戸時代に食料であり、お金(税金)であったお米の大事さ、お米を作るために必要な水の大事さを感じ取ってほしい」と話されました。子どもたちは上田さんのお話を真剣に聞き、探検ノートに要点をメモしていました。



深川地区では、他にも地域の皆様のご協力により、様々な学習支援が行われています。ありがとうございます！

興味津々、洞窟を覗き込んだり、岩穴を掘るために実際に使用された「ノミとげん」のう「を持たせてもらうなど貴重な体験をすることができました。



深川友愛学級・第5回学ぼう会 防災気象情報の利用について

11月5日(火)、下関地方気象台の気象情報官・

模原(うめはら)秀一さんを講師に迎え、防災気象情報の利用について学びました。専門機関との連携強化に向けて、市防災危機管理課の皆さんも参加されました。

講話では、「山口県は土砂災害警戒区域が全国的にも多い注意すべき地域」、「近年、雨の降り方が変わってきている。経験をもとに自分で判断することなく、避難情報が発表されたら迷わず避難するよう心掛けてほしい」などのお話がありました。

終わりに学級生から「市内でも各所で天気が違うので、観測点を人の多い市中央部に移せませんか」、「スマホは持っているけど、肝心の気象情報のページにたどり着けないわ」などの要望や意見が出され、会場の笑いを誘いました。



防災危機管理課の皆さん

【地域協育ネット指導者の紹介】①10/24 深川小・文化C (茶道) 流田和子さん、②11/18 向陽小・絵画工作C (絵画) 小西千鶴子さん、③10/21 向陽小・日本文化C (書道) 中村尚子さん、④11/18 向陽小・日本文化C (着付け・茶道) 藤井鈴枝さん・上田穰さん・中村尚子さん